

「自動運転社会を見据えた都市づくりの在り方検討会」(第2回)
議事要旨

■日 時：2020年2月3日(月)10時00分～11時30分

■場 所：東京都庁 第二本庁舎 31階 特別会議室 23

■出席者：委員17名、事務局 ※詳細は別紙参照

□主な意見

<自動運転の活用シーンの検討について>

- 自動運転社会を検討する上で、前提条件(自動運転のレベル、他技術の進展状況等)の整理が必要
- 自動運転の活用・導入の検討において、各地域特性に応じたコンセプトやビジョン(例えば、中枢広域拠点域はウォークアブルな街、新都市広域拠点域はバス交通の充実等)が必要
- 目指すべき都市像やライフスタイルの変化(外出率の低下等)に対し、自動運転のメリットや効果、必要性や貢献内容が整理できると良い
- ライフスタイルの変化(外出率の低下)や今後の想定を踏まえた課題設定や活用シーン及び周辺地域への影響が整理できると良い
- 駅前広場がない地下鉄が多い中枢広域拠点は、乗換え空間の確保が困難な場合が多く、活用シーンの検討で考慮が必要
- 多摩広域拠点域や自然環境共生域でも、買物や通院時の小型モビリティの活用が考えられる
- EVの充電や燃料補給の方法、駐車場の整備方針についても検討できると良い
- 自動運転以外での対応(地下鉄での観光移動、買物の移動販売、在宅医療等)も考えられる

<自動運転社会における道路空間や都市づくりの検討について>

- 自動運転に対応した道路空間の在り方は、道路整備や管理の目的等を考慮した丁寧な検討が必要
- 既存の道路空間において自動運転車等の専用空間を個別に設置していくことは難しく、将来の必要性も踏まえた検討が必要
- 地域特性に応じた自動運転車と他の交通モード(歩行者や自転車等)とのすみ分けや道路空間の使い方の検討も必要
- 駐車場の使い方のほか、附置義務の考え方が変わるといった視点での整理もできると良い

以 上

「自動運転社会を見据えた都市づくりの在り方検討会」（第2回）
出席者名簿

- 座 長 森本章倫 早稲田大学 理工学術院教授 <出席>
- 委 員 大沢昌玄 日本大学 理工学部教授 <出席>
- 委 員 小嶋 文 埼玉大学大学院 理工学研究科准教授 <出席>
- 委 員 東京都 政策企画局 技術政策調整担当部長 <出席(代)>
- 委 員 東京都 都民安全推進本部 治安対策担当部長 <出席>
- 委 員 東京都 戦略政策情報推進本部 戦略事業担当部長 <出席(代)>
- 委 員 東京都 都市整備局 都市づくり政策部長 <出席>
- 委 員 東京都 都市整備局 局務担当部長 <出席>
- 委 員 東京都 建設局 企画担当部長 <出席>
- 委 員 東京都 交通局 バス事業経営改善担当部長 <出席>
- 委 員 警視庁 交通部 交通規制課長 <出席(代)>
- 委 員 中央区 環境土木部長 <出席>
- 委 員 杉並区 都市整備部長 <出席>
- 委 員 多摩市 都市整備部長 <出席>
- 委 員 奥多摩町 企画財政課長 <出席>
- 委 員 一般社団法人 日本自動車工業会 2020 対応検討会主査 <出席>
- 委 員 特定非営利活動法人 ITS JAPAN 常務理事 <出席>
- 事務局 東京都 都市整備局 都市基盤部 交通企画課